高島学園 中学校だより【第19号】

令和５年　３月　２日
TEL36-0079　FAX36-8012
【文責 校長 浦島 容子】

○高島学園の朝～一日の始まり～

週の始まりがとても楽しみです。新生徒会での活動がさらに活発になっています。月曜日の朝は生活安全員会による昇降口での挨拶運動がなされ、「おはようございます」「おはよう」と言葉での挨拶、頭を下げての行動での挨拶、全校生みんながそれぞれに挨拶を交わしています。地域の方の声も聞こえてきます。穏やかで心地よいひと時です。

チャイムは始まりや終わりを告げるものです。その合図で生徒は自ら行動をし、朝読書や授業など、学校生活はとても落ち着いています。「チャイム鳴ったで」「〇〇の時間やで」などという声は、一日中ほとんどありません。どんな時も変わらず、朝読書に取り組む生徒がいます。「大事なことはぶれない」という強さを感じます。掃除の時間にも言葉少なに一心に取り組む生徒がいますが、同じことを感じます。「大事なことはぶれない」この強さはとても大切で、学力をつけたり、スポーツの技術をつけたりする、自分を高めるために必要な心の持ち方だと言われています。「人がこうしてるから自分も」でなく、「自分はこうしよう」という心を持つことで、いろんな力がさらに伸びてきます。

令和４年度も残すところ一ヶ月となりました。９年生は最後の定期テストを終えました。９年間の義務教育の総まとめを終えたことになります。すでに進路が決定し、新たな目標を抱き始めている生徒もいますが、１週間後にせまった県立高校の入試に向けていっそうに緊張感が高まっているのがうかがえます。しかし、緊張感の中であっても、しっかりと挨拶をし、笑顔で先生や友だちと話すなど、この落ち着いた生活ぶりにもう中学生を終えたかのような成長を感じます。「自分はこうする」強さが見られます。入試という壁をしっかり乗り越えてくれることを願っています。

小中一貫校「高島学園」　６年生中学校体験から

高島学園では、６年生が、普段から音楽を中学校の音楽室で授業を受けているなど、小学生が中学校で学ぶ機会があります。１月は中学校の生活を体験してもらいました。小中学校の大きな違いに、教科によって先生が変わるということや部活動があります。これらの違いに「楽しかった」という感想がたくさんありました。新鮮さもあったことと思いますが、どんな状況にも、前向きに対応し、「楽しい」と感じられることは大事なことです。４月に中学校に入学してくれるのが楽しみです。

給食時のこんな感想もありました。「給食の食器を返す時、並んでいて混んでいました。そしたら、８年生の人が「貸して！」と言って食器を返してくれました。こんなかっこいい先輩になりたいと思いました。」また、部活動体験の中でも、７、８年生が、わかりやすく教えたり、親切にサポートしたりする姿がたくさんありました。６年生は、「先輩とうまくやっていけるだろうか」というのが一番の不安です。その不安を一番よく知っているのが、７、８年生。その気持ちを思いやる先輩としての行動でした。７、８年生の確実な成長を感じます。

７、８年生は、４月から本学園の最終ステージとなり、学園リーダーです。学園の児童生徒みんなが「高島学園が好き」と言える学園にしてくれることと思っています。

○第９回高島コミュニティ・スクールびわこ全日本大会

２月 20 日（月）に開催された CS びわこ全日本大会も第９回となりました。市内各地から参加してくださるようになり、それぞれで取り組んでこられたことを交流できる場となりました。今回は、教職員全員研修会でお世話になった山口県の相田先生にも ZOOM で参加をしていただき、広がりと深まりを感じる大会でした。

コミュニティ・スクールが始まって、高島が６年、他の地域が５年、それぞれの地域の特色が見えるようになってきました。そして、それぞれに刺激を受けて「それよいやん！うちでもやってみよう。」と声が上がる炎上ぶりでした。相田先生からも「熱気を感じます」とコメントをいただきました。

高島市のコミュニティ・スクールの活性化にむけて、とても有意義で、とても意味のある時間でした。来年度、第 10 回、地域の皆さん、保護者の皆さん、参加をお願いします。

高島 CS では、今、卒業式のコサージュの作成がされています。卒業生一人ひとりに好みの色を聞いてくださいました。できあがりがとても楽しみです。

２月 17 日に小学校で「十歳ちかいの式」が行われ、８年生がお祝いの言葉を述べました。その中で、「今までお世話になったおうちの方、先生方、地域の方々ありがとうございます。」と、今の思いを伝える場面がありました。心が育っています。

子どもたちのより良い成長に向けて、保護者、学校、地域がつながり、ひびき合いましょう。子どもも大人も元気で、温かい地域になるといいですね。

本物の力

「『つけられた（つけさせられた）学力』は、もろいものです。」と、ある教育座談会に参加したときの話です。

第１８号の学校だよりで「『主体性』が実を結ぶ」とお伝えしましたが、「自分が自らつけた力」にしてやることが大事です。「つけられた力」は、すぐに使えなくなります。人から言われて勉強したとしても、やる気なく行動したとしても、その時、その場は進むように見えますが、「この前も言ったのに」と、繰り返しになってしまうことが多いものです。しかし、自分が「こうなりたい」「こうしたい」という気持ちで、動いたことは、「自分がつけた力」につながります。これが「本物の力」となります。

私たち大人の大事なことは、子どもたちに「こうなりたい」「こうしたい」という気持ちを起こさせることです。社会には、いろんな選択肢があります。今や、その選択肢は多様で豊かな時代になり、思いをかなえる道も様々となり、可能性が広がっています。「こうなりたい」をかなえるために、自ら行動する「本物の力」が必要です。大人の工夫で、子どもは自分で力（学力）をつけていきます。「認める」、そして、「気づかせる」言葉がけは、子どもにエネルギーを与えます。

また、子どもが「こうなりたい」と思う大人に近づく努力を常々したいと思います。

3月の予定

１日（水）	人権の日
２日（木）	７、８年期末テスト
３日（金）	７，８年期末テスト 生徒会事業委員会
８日（水）	県立高等学校一般入試
１３日（月）	９年同窓会入会式 卒業式予行会
１４日（火）	卒業式
１５日（水）	８年確認テスト 県立高等学校 一般入試合格発表
１６日（木）	県立高等学校二次出願
２２日（水）	県立高等学校二次入試
２３日（木）	大掃除
２４日（金）	修了式
２５日（土）	学年末休業

４月９日（日）まで